

幼稚園だより

—5月号—

令和5年4月28日
墨田区立八広幼稚園
園長 金澤 里美



遊びや生活の充実、経験のつながりを大切に

園長 金澤 里美

入園・進級から約3週間がたちました。うさぎ組さんは、初めの数日は不安そうな様子も見られましたが、今では喜んで登園し、元気に遊び出すようになりました。（「帰るの嫌！もっと遊びたい。」と泣いている子もいるくらいです。）保護者の方も玄関で見送りをしながら、子供たちのわくわくする気持ち、ちょっぴり不安な気持ちを同じように感じていらしたのではないかと思います。また、進級したぞう組さん一人一人の顔からは、年長になったうれしさ、張り切る気持ちが伝わってきました。廊下や園庭でうさぎ組さんと会うと、どう声を掛けていいのか戸惑う姿も見られましたが、うさぎ組の子が困っているときに「どうしたの？」と声を掛けて助けてあげた子がいました。その姿を見て、自分から声を掛けたり、相手のためにどうしたらいいのか考え、行動したりする姿が日に日に増えており、とても頼もしく感じています。

幼稚園では、子供たちの遊びや生活が充実するように、また、その中での経験が繋がって、子供たちの心が豊かになるように願い、教育活動を行っています。保育日数にすると、入園から13日、進級から15日という短い期間ですが、子供たちはたくさんを経験し、様々なことを感じ、成長しています。園生活を通して子供たちがどんな経験をしているのか、そのことが、子供たちの成長にどのように繋がっているのかを、上映会などを通して今年度もたくさん発信していきたいと考えています。保護者の方に子供たちの育ちを実感していただける機会となればうれしいです。

今年の春も、急に気温が高くなったかと思うとまた寒さが戻るなど、変化が激しかったですね。5月初めは開園記念日のお休みや連休もあります。休み明けは、これまで頑張った分、疲れや甘えが出てしまうお子さんもいるかもしれません。急に泣きたくなくなってしまったり、自分を出せるようになってきたために、けんかになったり…ということもあるでしょう。そんな姿もすべて受け止めながら、引き続き、教職員全員で子供たちの育ちを支えていきたいと思っています。今後も、保護者の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

【5月のねらい】

うさぎ組

- ・園生活に慣れ、できることは自分で行おうとする。
- ・自分の好きな遊びを見つけて遊んだり、教師や友達と一緒に遊んだりすることを楽しいと感じる。

ぞう組

- ・学級全体やグループで活動する中で、一緒に行う楽しさや、学級としてのつながりを感じる。
- ・戸外で思い切り体を動かして遊ぶことを楽しむ。

